

広報 **ふじ** NO.259

発行・富士市役所
富士市永田61-1
電話<0545>51-0123

53.10.5 発行 編集・
【毎月5日と25日発行】 企画調整部広報広聴課



「全国一」の設置規模 (広報無線 受信局)

開局20周年を迎えました

市民生活に直接関係の深い市の行事や催しなど「声のお知らせ」を市民のみなさんにおとどけしている広報無線放送が、10月10日でちょうど開局20周年を迎えます。

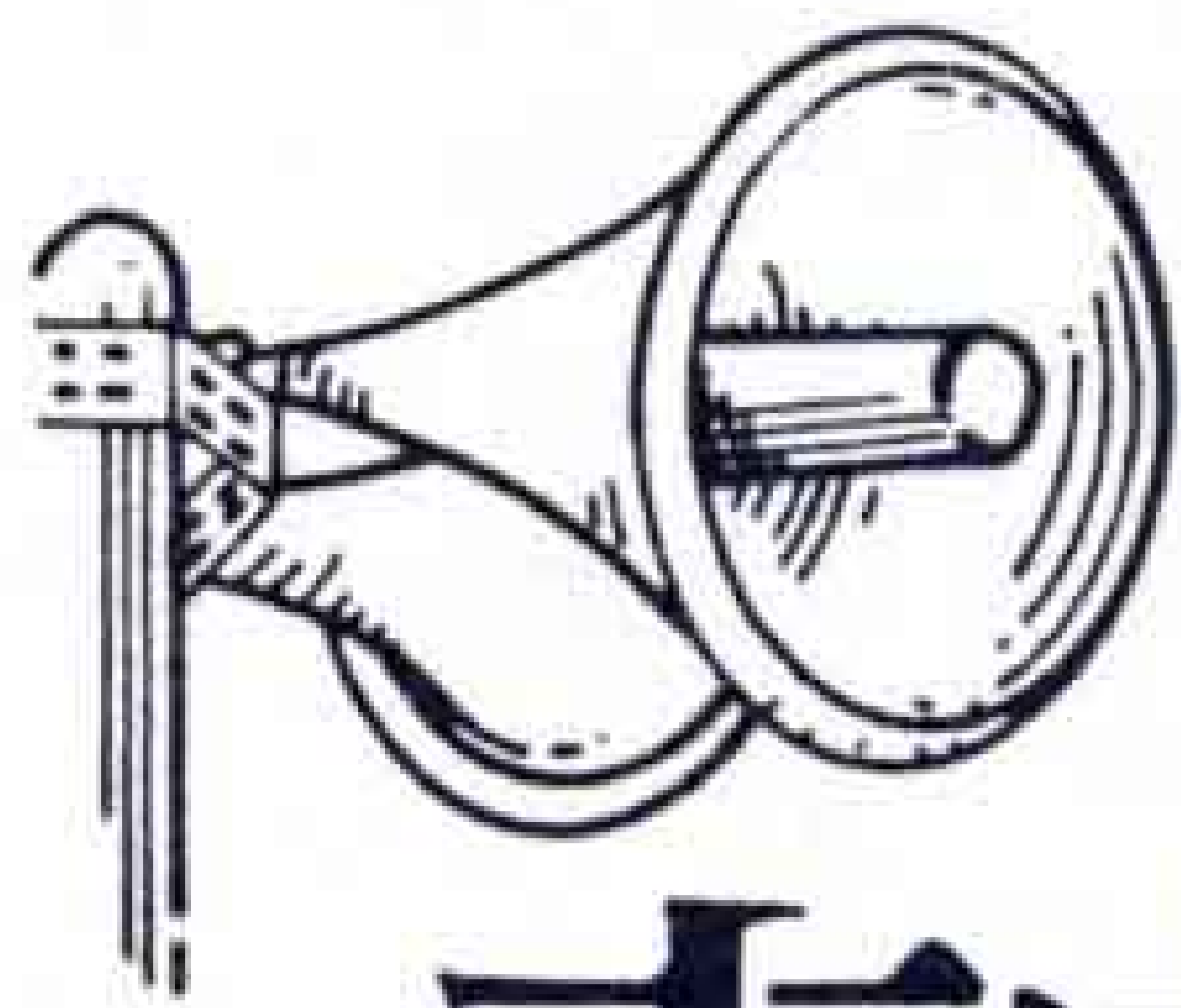
この無線放送は、昭和33年旧吉原市の当時、8局で開局して以来、毎年8~9カ所を新設してきましたが、

現在は、市内186カ所の受信局(広報塔)が設置され、屋外方式としては全国一の規模となりました。この無線放送は、日曜、祭日を除き毎日午前7時30分と17時の2回の定時放送と緊急時や、火災時の災害情報をはじめ、迷い子、行方不明などを臨時に放送しているほか、時報(チャ

イム)を朝7時、10時、正午と14時の4回、市民にお知らせし市民サービスの向上に役立っています。

【写真・今日も庁舎内放送室で活躍する増田アナウンサーと広報無線スピーカー】

今回発行の広報ふじは、「おしらせ広報暮らしのたより」と合わせて編集発行しましたのでご承知ください。



ピンポン パンパン 市役所からOOIについて
お知らせします

市内 186 カ所にスピーカー

“声”のお知らせの充実をはかります

市の広報無線放送が“何も聞えないので何とかしてほしい”一時報やお知らせのチャイムが時々聞えるだけであとは何もわからない——“音が大きすぎてうるさい”——などの要望や苦情が市広報広聴課へ寄せられています。

これらの問題につきましては、今後前向きに検討し、適時的確な情報がスピーディーに流せますように広報無線放送の充実、改善をはかってまいりますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

53年度は10カ所に新設します

今年度の受信局（広報塔）の新設工事は、天間北2・天間東・柚木西・希望ヶ丘・依田橋南・末広町・東比奈2・原田2～3・湯沢平・富士本町の10カ所を予定しております。

しかし、まだ聞えない地域は、全体で20%近くあります。市内全域で

聞えるようにするには、あと約50カ所設置しなければなりません。これらは、60年度までに設置を完了する計画です。新しく受信局を設ける場合は、すでに設置してある受信局との距離や人口の集中度合などを考えてつくっています。

52年中に2,237回放送しました

昨年1年間に放送した回数は、定時放送（時報を含む）が2,096回、臨時が141回ありました。臨時放送の内容は、火災78回、迷い子・尋ね人34回、交通情報4回、その他臨時のお知らせ25回となっております。なお、迷い子・尋ね人が34回もありま

したが、ほとんど幼児から小学校低学年までと、お年寄りでした。

さいわい大事にいたっていませんが、みなさん、子供さんや、お年寄りが出かける時には、行き先をしっかりと確認しておくよう心掛けてください。

尋ね犬などの放送はできません

「犬や猫などを探してほしい」…という依頼がよく市の広報広聴課にあります。特別の事情（狂犬病などで人間に危害を加えるおそれがある場合など）を除いては、いっさい放送することができません。

また、商店などの催しや個人の利益になるものも放送できません。このほか、迷い子・尋ね人などの放送をするときは、警察署長の要請がなければできませんのでご承知ください。

最後に……

とかく忘れがちな毎日の行事や連絡事項を間違いなく広報無線で、市民にお知らせしていますが、お手元の広報ふじのお知らせの内容をもう一度よく読んで確認してください。

ダイヤル市政案内をご利用ください



今日は
何かあるかしら

電話番号 52-1111

休日当直医や市の行事などを電話でお知らせしています。

いつでも知ることができますのでご利用ください。

勤労者・子弟を対象に

「大学などの進学ローン」を新設

＝貸付金額は100万円まで＝

市では、全国に先がけて市内に引続き1年以上住み、主として中小企業に働いている勤労者およびその子弟が大学や短大、専修学校（高校課程の卒業を必要とする）などへ進学する費用にあてるための資金を静岡県労働金庫と提携して、昭和54年1月10日から貸付業務を開始する予定で準備をすすめています。

融資総額は、1億円（市が2,500万円、労働金庫が7,500万円）を原資に進学者1人について100万円以内の資金を融資しようというものです。

利用できる人は、あくまでも進学のために必要な資金で、市内の中小企業等に働き、年間所得額が500万円以下の人、およびその子弟となっています。

貸付金額その他返済方法は、次の

とおりです。

貸付の条件

- ▶貸付額……進学者1人に100万円以内。
- ▶貸付利率……年利率6.6%（保証料を含む）
- ▶貸付期間……5年以内（在学期間中据置く場合は6年半以内）
- ▶据置期間……4年以内（留年は認めない）
- ▶返済方法……①60回払以内の元利均等月賦償還 ②据置いた場合は30回払以内 ③据置いた場合は年2回利息を返済する。
- ▶連帯保証人……1人

申込み期間と申込み先

昭和54年1月10日から3月31日まで

で労働金庫富士支店へ申込んでください。

なお、くわしいことは市商工課（電話51-0123 内線398番）または労働金庫富士支店（電話61-0808番）へお尋ねください。

進学資金の説明会

市内の中小企業で働いている勤労者およびその子弟たちが大学などに進学する「勤労者進学資金貸付制度」の説明会は、次の日程で開きますので、進学資金を借りたい人は出席してください。

- ・11月6日(月) 吉原市民会館
 - ・11月7日(火) 富士文化センター
 - ・11月8日(水) 鷹岡公民館
- 時間は各会場とも17時から19時まで。

福祉生活資金(市民ローン)を貸付けます

＝1人20万円以内＝

福祉生活資金（市民ローン）の貸付制度は、市民の緊急または一時的な生活上の資金を必要とする場合に市が富士信用金庫と提携して、総額3,000万円を原資に1人20万円以内の生活資金を融資するもので、10月2日から始まりました。

〈受付窓口〉

市内の富士信用金庫の本店または支店の貸付係で受付けています。

〈貸付額及び条件〉

- ▶貸付額……20万円以内
- ▶貸付金利……年6%
- ▶償還方法……元利均等月賦で2年以内。

▶対象者……住民基本台帳に登録されている世帯の生計中心者です。

次に該当する方は、連帯保証人を必要とします。

- ①住民基本台帳に登録されてから1年未満の人。
- ②信用金庫に申込書を提出した結果連帯保証人を必要とする旨、いわれた人。

〈提出する書類〉

- ・印鑑証明書、実印を持参
- ・住民票の謄本1通
- ・源泉徴収票または所得証明書（市役所発行）

〈提示するもの〉



- ・健康保険証
- ・持家の方は固定資産税の領収書
- ・信用金庫の預金通帳（ない人は開設してもらいます）
- ・電力料金の領収書（可能な人は自動振替に加入してもらいます）

〈申込みをして貸付を受けられる期日は〉

最低1日かかります。

なお、この生活資金の用途は、医療、出産、冠婚葬祭、結婚などで、一時的に生活上困っている人たちが対象です。

母親の“しつけ”が75.6%

市消費者運動連絡会の アンケート調査結果

富士市消費者運動連絡会（井出安江代表）は、このほど“子どものしつけ”についての市民アンケート調査を行いました。

調査は、市内の一般消費者 600 人を対象に同会員が調査対象世帯を訪問しながら聞きとり調査で調査票を回収しました。この結果、536人（男232人、女304人）から回答が寄せられ、回収率は89.3%でした。

この内訳は、30歳以下が46人(8.6%) 31歳～40歳が243人(45.3%) 41～50歳が210人(39.2%) 51歳以上が37人(6.9%)となっています。

また、子どもたちを学年別にわけてみますと、幼児期の子どもを持つ親が49人(9.2%) 小学生が186人(34.7%) 中学生が155人(28.9%) そして高校生を持つ親が146人(27.2%) となります。アンケートの調査結果は次のとおりです。

父親は9.4%と低い

【問い①】「あなたの家庭で主に子どもを“しつけ”るのは誰ですか」

【答】 この問いに対し、533人中75.6%にあたる403人が「母親」と答え、「父親」が“しつけ”している家庭はわずかに9.4%の50人でした。

【問い②】「あなたの家庭では、男の子と女の子で“しつけ”をとくに区別していますか」

【答】 「区別している」と答えた人は、全体の18.4%の96人ありました。その主な内容は“男は男らしく、女は女らしく”とする人が、49.2%、 “礼儀作法”をあげた人は33.8%もありました。

【問い③】「あなたの子どものために特に注意することはなんですか」

【答】 「ことば使いや礼儀作法」と答えた人は523人中34.6%にあたる181人ありました。そして「物を大切にすること」20.1%の105人、「食べものの好ききらいをいわないこと」17.4%の91人、「勉強すること」14.1%の74人、「テレビを見る時間を守らせること」6.9%の36人とつづいています。

【問い④】「一般的に子どものことで心配なことが増えてきたといわれていますが、なにが影響すると思いますか」

【答】 この問いに対しては528人が

回答し、その筆頭は「テレビや雑誌等の影響」が全体の33%にあたる174人がこれをあげています。そして「親のしつけ不足」が22.7%の120人、「友達の影響」7.2%の38人、「家族制度の変化」が4.2%の22人の順となっています。

【問い⑤】「あなたのお宅では、これから子どもたちに、どのような“しつけ”をすることが大切ですか」

【答】 この問いには、534人が回答を寄せ、「自立心や責任感のある子にしたい」が33.7%の180人、つづいて「人に迷惑をかけない子」が28%の150人、「素直で明るい思いやりのある子」26.6%の142人、その他となっています。

親と子の消費者展

とき 10月21日(土)・22日(日) 10:00～19:00

ところ ユニー吉原店

主な催し “家庭と学校のしつけ”・“子どもの目、声、夢”
“チビっ子広場” “ほんものとは…”
“歯、薬のなんでも相談” など

主催 富士市消費者運動連絡会・富士市
県東部消費生活センター

生活環境をよくするための 『緊急整備事業』

去年は126件を処理・窓口は市民相談室です

住民の生活環境をよくするための「緊急整備事業」が市民相談室に開設され、今年で2年目になります。この「緊急整備事業」は、住民の皆さんから環境の整備、改善などにつ

いて要望があり、これらの内容や規模が、この事業に適合すると認められた場合は、緊急に整備するというものです。

皆さんからの要望の大半は、側溝の甲ブタ設置や、道路舗装の一部補修などで、昨年1年間で126件(499万7,000円)を処理しました。

その内訳は、甲ブタ設置49件、側溝補修21件、舗装

補修17件、水路改修11件、路肩補修他28件となっています。

この事業は、あくまでも小規模かつ緊急に処理を要するものとし、その経費(予算)は、1件について10万円を限度として、要望の受付は、市役所2階、市民相談室で行っています。

また、ことしの予算額は1,000万円で、8月末現在すでに83件の570万円が処理されています。

また、地区別では吉原、今泉地区が一番多く、ついで富士駅北、岩松田子浦地区の順になっています。



郷土の歴史と文学を

=図書館の文化講座=

第11回図書館文化講座が、9月21日から市立中央図書館で開かれました。この講座は、市立中央図書館が市民の皆さんにより広い知識を得るために学習していただくよう毎年開いているものです。

今年も、5回の学習会が予定されており、第1回目は、駿河郷土史研究会々長の鈴木富男先生が、富士市の古文書の中から『うまやじの鈴』をわかりやすく、ユーモアをまじえて話してくださいました。

会場は、郷土の歴史に関心を持った、若い人からお年よりの受講生で満員となり、熱心に耳をかたむけていました。【写真・ふるさとの歴史を熱心にきく受講生】



自動販売機をみて

〔こえ〕市内各所に、自動販売機が置かれていますが、少しの振動で倒れる危険性のあるもの、通行の安全を阻害するおそれがあるもの、又、清涼飲料水等は別として有害図書自動販売機が見受けられます。行政指導をお願いします。

(厚原 Kさん)

〔こたえ〕自動販売機が振動で倒れるとか、道路上に出ていて通行

の安全を阻害するもの等については、道路パトロール等で発見しだい注意指導をしています。今後も警察、県と協議し指導していきます。

(市建設部管理課)

自動販売機による有害誌追放運動には、積極的にとりくんでおり成果も着々とあがっています。今後更にこの運動を進めるため、市民の協力と県の行政指導を、期待しています。又、有害誌を家庭に持ちこまない運動として、市内各地に白ポストを設置しております今年度末までには合計24カ所設置されますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

(市青少年補導センター)

一時金を支給します

旧軍人としての勤務年数が合せて3年以上ある人で恩給や共済年金などを受けたことのない人に一時金が支給されます。

該当と思われる人は、10月1日から請求手続きをしてください。受付窓口は市福祉部社会課社会係(内線270番)です。

“ドライブは安全運転で”

市内の交通事故の実態

秋の交通安全運動3日目の9月23日(土)の深夜、三人乗りの普通乗用車が、市道のカーブを曲りきれず道路の右側のガードレールに衝突、運転者と同乗者1人が即死する事故

が起きました。行楽シーズンを迎え、車でお出かけの人が多いと思いますが、このようなときは、解放的な気分になり、運転も乱暴になりがちです。



旧軽免許又は旧三輪免許を持って限定解除審査を受ける人へ

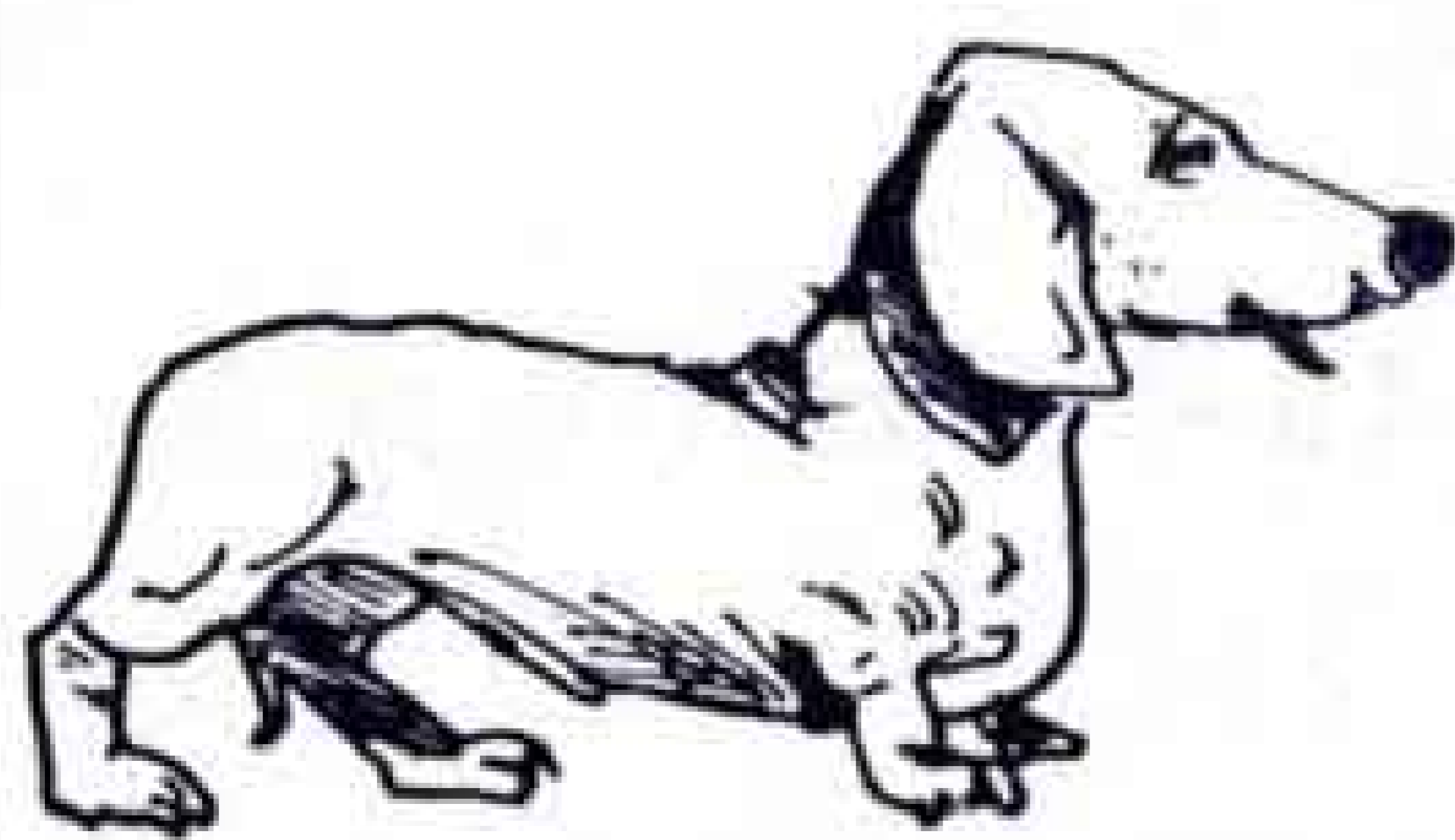
現在、普通免許を受けていて、運転できる自動車が旧軽自動車(360cc)または自動三輪車に限定されている人が、これ以外の普通自動車を運転しようとするときには、あらためて限定解除の技能検査を受け、その審査に合格しなければなりません。

9月21日から審査方法が改正され審査についての便宜がはかれることになりました。審査を受ける手続きにつきましては、警察(電話52-2543番)の交通課運転免許係にお尋ねください。

犬の放し飼いは困ります

犬の放し飼いは、市の条例で禁止されています。

おとなしい犬だからといっても、知らない人にはこわいものです。他人に危害を加えたり、畑を荒したりすることのないよう、必ず犬はつないでおいてください。



きめられたスピードを守り、安全運転に心がけましょう。

9月の人身事故は70件

9月に入って24日までに管内で発生した交通事故は

- ・人身事故…70件(前月比9件増)
 - ・死者…2人(同1人増)
 - ・負傷者…90人(同8人増)
 - ・物損事故…69件(同4件減)
- で主な原因は

- ▶オートバイが交差点で出合頭にぶつかったり、追越しのための正面衝突……12件
 - ▶バイクが運転不慣れのため、カーブでハンドルを切りそこなったり交差点で左折する車にはねられた……9件
 - ▶自転車がせまい道路から急に出て来たり、合図をせずに、いきなり曲ったため、前や後から来た車と衝突……7件
- などです。

郵便局の簡易保険

郵政省の簡易保険料は、加入者の共同の信託財産として大切に管理運用されていますが、こととして二十五周年をむかえ、この資金も去る七月四日で十兆円を突破しました。当市においても吉原郵便局を通じて現在五十三億円余の簡保資金の融資を受けております。

主な融資施設は、岳陽中学校の校舎建築をはじめ、富士見台団地、富士川緑地公園などです。郵便局の簡易保険は、万一の時の保障や、生活設計に役立っているだけでなく、住みよいまちづくりにも役立っています。



このコーナーでは「トピックス」と題して、地域の明るい話題、できごとなどを掲載しています。みなさんのまわりでよい催し物や行事などがありましたら市広報広聴課（電話51-0123内線528）までご連絡ください。

アイデア生かした貯金箱コンクール ▶

私のアイデア貯金箱コンクールの審査会が9月21日の午後、富士郵便局で行われました。

このコンクールは、市内13の小中学校から選出された91点で、ブタの貯金箱や宝くじの貯金箱、ヒマワリの種で作った貯金箱など、どれも子どもたちのアイデアを生かした力作ばかりでした。

局長さんたち4人の審査員によって、15点がえらばれ、東海郵政局の審査会に出品されます。

【写真・採点に頭を痛める審査会場】



第12回畜産共進会

最高賞は藤田さん（乳牛） ▶

第12回富士市畜産共進会が9月18日市内青島町の中央公園予定地広場で69頭（乳牛20、肉牛24、種豚25頭）が出陳され、県家畜保健所、畜産試験場などの係官10名が、体型や、つや、肉のつき具合など頭先の先からシッポまできびしい審査の結果、乳牛の部の最高賞は、市内富士本西の藤田和夫さん、肉牛の部では、市内伝法の稲葉佐太郎さん、種豚の部は市内天間の渡辺純一さんにそれぞれきまり、牛はモーモー、豚はブーブー「審査はモーたくさんとブーブー」ポヤイていました。【写真・種豚の審査風景】

◀ 家族ぐるみの区民体育祭終る

恒例の「区民体育祭」が、ことしも市社会教育推進会の主催で去る8月27日岩松地区を皮切りに、9月17日の神戸地区を最後に市内18会場で大々に行われました。

どこの会場も飾りつけなど年々趣向をこらし名物の町内ごとの応援合戦の中で、若い人からおとしよりまで家族ぐるみで親と子の二人三脚をはじめ借り物競走、メデシングボールや町内別対抗の400メートルリレーなど、どれも採点種目とあって各選手がハッスル。転んで泣きべそをかく人、優勝して万歳をあげる人など一日楽しい「区民体育祭」でした

【写真・家族ぐるみでメデシングボールに熱が入る】



◀ 身障者などの雇用促進キャンペーン

9月20日午後12時から16時まで、心身障害者・中高年令者雇用促進キャンペーンが市内で行われました。このキャンペーンは、富士公共職業安定所や県雇用対策協会などの関係者10数名が参加して行われたものです。

一行は吉原中央駅前であら

シヤパンフレットを配った後富士市役所・山川工業・東京芝浦電気を訪れ、人事担当者などに「心身障害者と中高年令者に雇用促進を」…と呼びかけ理解を求めました。

【写真・福祉事務所を訪れたキャンペーンの皆さん】



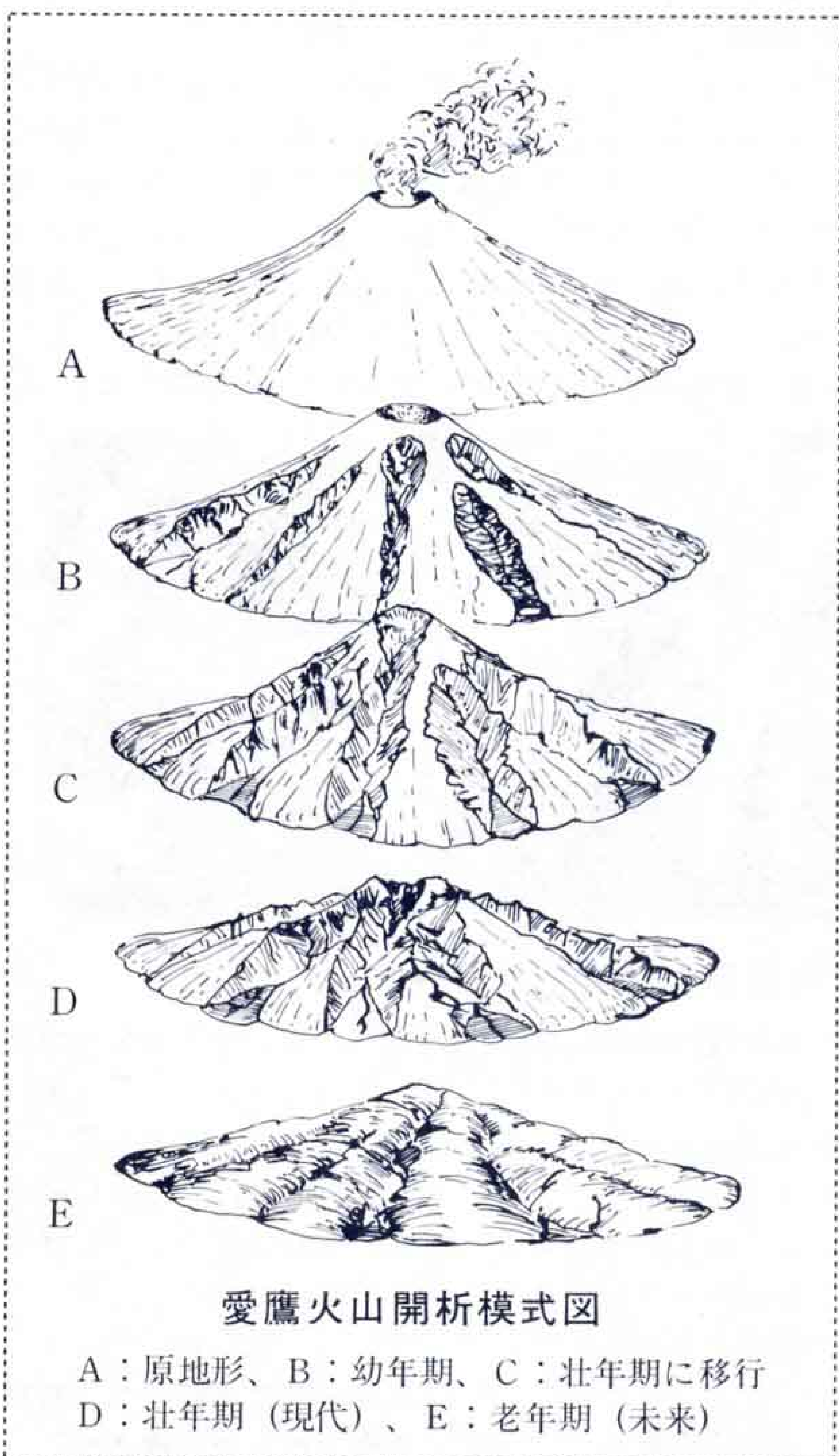
ふじ・あしたかの
自然への招待 ④

地質・地形 (No.3)

愛鷹火山のおいたち

愛鷹火山(あしたかかざん)のできた年代は、はっきりしていませんが、浸食のようすや、溶岩の特徴などから、小御岳火山と同じころと考えられ、前後2回にわかれて噴火しました。

そのころの山は、今の富士山と同じような形をした高さ2,300mほどの山でした。しかし、山体は、長い間の浸食で山頂もなくなり、越前岳(えちぜんだけ)(1,505m)、呼子岳(よびこだけ・1,313m)大岳(おおだ



大榎の滝 (須津川)

湧き水を集めて地表を流れている水も、この滝の下流で、再び地下にしみ込んでしまう。

け・1,253m)、鋸岳(のこぎりだけ・1,296m)、位牌岳(いはいだけ・1,457m)、愛鷹山(1,187m)とにわかれて、連峰のような形をした山になりました。これら山々のすべてを含めて「愛鷹山」と呼んでいます。

また、山体には、赤濁川、須津川、春山川、桃沢川大沢など、“百沢、(ももざわ)と呼ばれるほどの多くの谷があります。どこも、両岸が切りたったような深い谷になり、今も少しずつ浸食がすすんでいます。

愛鷹火山の溶岩流にも、水を通しにくい層があります。この地層は、原田・今泉方面にも広く分布しているようです。愛鷹山で地下にしみ込んだ水は、地下水となってこの層にそってふもとに流れています。原田などでは富士山の溶岩の下から、湧き水となってでて

います。
(次回は、「地質・地形」No.4、地質・地形のうつりかわりです。)